

Ver 1.4

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書

プロジェクト名	ペレット燃料普及による栗駒山麓森林資源活用プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	日本の森バイオマスネットワーク



提出日 2010年 8月 6日

受理日 2010年 8月 6日

最終版提出日 2010年 10月 7日

A : 参加者情報			
プロジェクト代表事業者 1			
事業者名(フリガナ)	日本の森バイオマスネットワーク(ニホンノモリバイオマスネットワーク)		
住所	宮城県栗原市栗駒松倉中山田 16 番地		
代表者氏名	佐々木 豊志	担当者氏名	唐澤 晋平
担当者所属		担当者役職	事務局長
担当者 E-mail	office@miyagibiomass.net	担当者電話番号	0228-49-3155
プロジェクトでの役割	プロジェクト全体の統括		
プロジェクト事業者(排出削減実施事業者) 2			
事業者名(フリガナ)	宮城県内、東京都、長野県、兵庫県、山梨県、千葉県の一般家庭、事業所および農家		
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
プロジェクト参加者 3 4			
事業者名(フリガナ)	栗駒木材株式会社(クリコマモクザイカブシキカイシャ)		
住所	宮城県栗原市鶯沢袋島巡 4 4-1		
代表者氏名	菅原正義	担当者氏名	秋山英雄
担当者所属	山林部	担当者役職	係長
担当者 E-mail	miyuki@kurimoku.com	担当者電話番号	0228-55-3261
プロジェクトでの役割	ペレットストーブの販売・設置、ペレット燃料の生産・販売		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 5			
事業者名(フリガナ)	栗駒木材株式会社		
オフセット・クレジット(J-VER)口座番号 6			
ダブルカウントの防止の措置 7			
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	日本の森バイオマスネットワーク		
公的な報告・公表制度	必要に応じ気候変動際策認証センター及び当該公的制度管理者に対して当該情報の提供を行う		

自主的な報告・公表 対象	日本の森バイオマスネットワークのHP上にて当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出されるオフセットクレジット(J-VER)の発行量及び移転量を明記する。
-----------------	---

- 1: プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- 2: プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- 3: プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。
 - ・ 温室効果ガス排出削減活動の実施に際して設備導入等のアドバイスを行う ESCO 事業者等
- 4: プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- 5: オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- 6: オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- 7: オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

B : プロジェクト活動の概要	
B.1	項目
プロジェクト活動	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>【目的】 宮城県内、東京都、長野県、兵庫県、山梨県、千葉県的一般家庭、事業所および農家でのペレットストーブの利用を普及し化石燃料から木質ペレット燃料へと転換することで CO2 を削減する。また、木質ペレット燃料の消費拡大によって、ペレット製造を新しい地場産業として確立し、雇用の創出につなげる。</p> <p>【内容】 一般家庭で灯油、ガス、電気等を消費するストーブや農家のビニールハウスで使用されている石油温風器の代替としてペレットストーブを導入し化石燃料から木質ペレット燃料への転換を行う。</p> <p>木質ペレット燃料は栗駒木材株式会社での製材端材を原料とする。本プロジェクトでペレット原料として使用している製材端材は、製材製造工程において発生する端材であり、堆積の面積が限られていた。このため、焼却処分したり、やむを得ず畜産農家に対して敷料として安価に提供していたが、敷料は製材過程で発生する樹皮等で代替可能であるため、畜産農家に対する敷料の供給に支障はない。</p>

B.1.2 プロジェクト実施前の状況

【他のストーブの代替としてペレットストーブを導入する前の設備、使用燃料について】

・ペレットストーブを導入した一般家庭・事業所・農家では、それまで灯油、ガス、重油等の化石燃料を使用するストーブや温風器、または、電気を用いたストーブやエアコン等の間接的に化石燃料を使用している機器が利用されていた。

【ペレットストーブを新規導入した場合、ペレットストーブを導入しなければ導入していたであろう設備と、その使用燃料について】

・新規にペレットストーブを導入する一般家庭・事業所・農家では、ペレットストーブを導入しなかった場合、扱いが簡便な灯油、ガス、電気、重油等を使用するストーブや温風器が利用されていたと想定される。

【ペレット原料について】

ペレットの原料には栗駒木材株式会社で発生した製材端材を利用する。製材端材は、製材製造工程において発生する端材であり、堆積の面積が限られていた。このため、焼却処分したり、やむを得ず畜産農家に対して敷料として安価に提供していたが、敷料は製材過程で発生する樹皮等で代替可能であるため、畜産農家に対する敷料の供給に支障はない。

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

【手段】

1、栗駒木材株式会社で発生した製材端材の利用方法を、農家供給から木質ペレット燃料の製造利用に転換する。本プロジェクトでペレット原料として使用している製材端材は、製材製造工程において発生する端材であり、堆積の面積が限られていた。このため、焼却処分したり、やむを得ず畜産農家に対して敷料として安価に提供していたが、敷料は製材過程で発生する樹皮等で代替可能であるため、畜産農家に対する敷料の供給に支障はない。

2、日本の森バイオマスネットワークが化石燃料を消費するストーブ・温風器を利用する、もしくは利用する予定のある一般家庭・事業所および農家にペレットストーブの普及を促進する。

3、栗駒木材株式会社が一般家庭・事業所および農家にペレットストーブを設置し、木質ペレット燃料の販売を行うことでCO₂の削減につなげる。

プロジェクトで使用する設備・機器等

(プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))

(1) ペレットストーブ

機器名称	機器メーカー名	型番	耐用年数	タンク容量	用途
エコマスター	さいかい産業		6年	約 80kg	温室用暖房 燃料はペレット
カローレ	さいかい産業	SS-1	6年	約 12kg	家庭・事業所等用暖房 燃料はペレット
だるま君	さいかい産業	DK-09	6年	約 20kg	家庭・事業所等用暖房 燃料はペレット
VICTORY	KOZI		6年	27kg	家庭・事業所等用暖房 燃料はペレット
エボリューション	TOYOTOMI		6年	39kg	家庭・事業所等用暖房 燃料はペレット

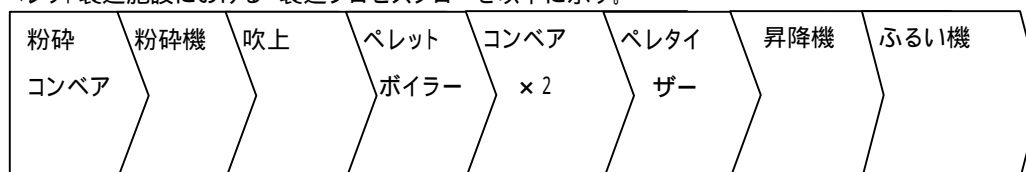
(2) 木質ペレット製造施設

主な用途・設備：本事業を実施するのに必要なペレット製造施設を整理した。

機器名称	メーカー名	型番	機器容量	法定耐用年数	導入年月	用途
ペレットボイラー	D ALESSANDRO TERMOMECCANICA ダレスサンドロ・ボイラ	CSI-20 08-038	定格出力： 24kW 定格消費電力： 0.24kW	10年	H21.8	ペレット原料乾燥 用 燃料はペレット
ふるい機	自社製作		1.5kW 4POLE		H21.6	ペレットの選別
コンベア	日工(株)	MC-35SP7M	出力 1kW	5年	H21.6	原料をペレタイザーへ運搬
コンベア	日工(株)	MC-35SP2M	出力 1kW	5年	H21.6	同上
昇降機	(株)ホクエツ	スチール昇降機 7吋	0.2kW	5年	H21.6	ペレットをふるい機へ運搬
粉碎コンベア	日工(株)	MC-50SP-6M	1.5kW	5年	H21.6	端材を粉碎機へ運搬
粉碎機	エノ産業(株)	DA-850C	動力 45-75kW	8年	H21.6	端材を粉碎
吹上	MITSUBISHI	SF-JR	15kW 4POLE	10年	H21.6	粉碎された木材を乾燥庫へ送る
コンプレッサー	SHWKO.S.S	BPC-8KD	100V 460/480W	4年	H21.6	掃除用
扇風機	イーワテック販売(株)	KGF-459AP	100V 消電 100W	5年	H21.6	作業環境保守
ペレタイザー	(株)土佐テック	TS-550	55kW	8年	H21.6	ペレット製機

製造プロセスフロー

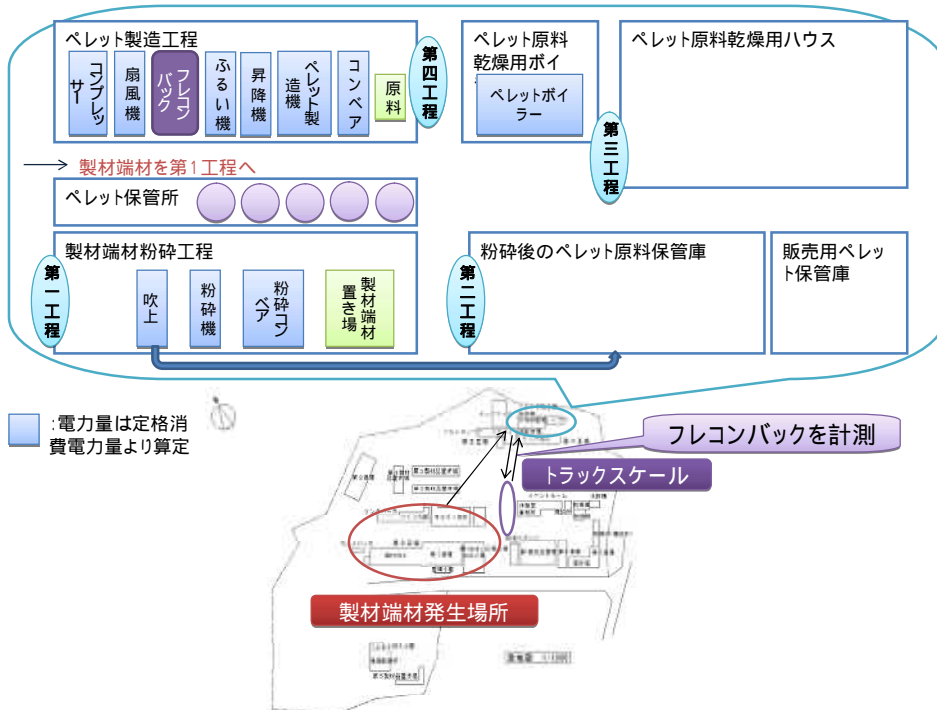
ペレット製造施設における 製造プロセスフローを以下に示す。



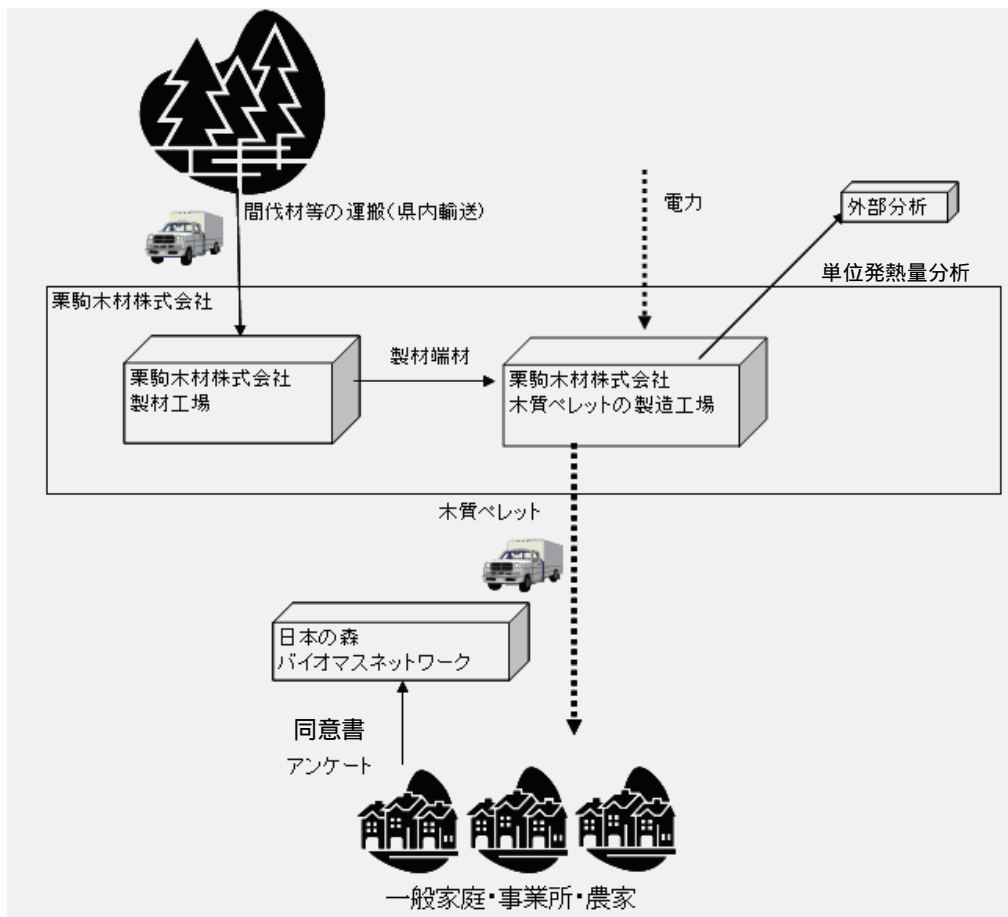
なお、扇風機、コンプレッサーについては、作業環境保守のために使用されているため、製造プロセスには含んでいない。

B.2 採用技術

栗駒木材株式会社 製造施設配置図



材料・エネルギーの流れ



B.3 プロジェクト エクト 実施	実施 事業 所名	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の森バイオマスネットワーク ・栗駒木材株式会社 ・宮城県内、東京都、長野県、兵庫県、山梨県、千葉県的一般家庭・事業所および農家
	住所	日本の森バイオマスネットワーク : 宮城県栗原市栗駒松倉中山田 16 番地 栗駒木材株式会社 : 宮城県栗原市鶯沢袋島巡 4 4 - 1 ペレットストーブ利用者 : 宮城県内、東京都、長野県、兵庫県、山梨県、千葉県

<p>場所</p>	<p>(プロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を用いて、プロジェクト実施場所について分かりやすく説明する。その他、別紙「プロジェクト申請方法について」に記載する資料を適宜添付する。)</p> 
<p>概要</p>	 <p>日本の森バイオマスネットワーク、栗駒木材株式会社</p> <p>: ペレットストーブ利用者</p>

B : プロジェクト活動の概要							
B.4 プロジェクト期間 1		2010年 1月 18日 ~ 2013年 3月 31日 (3年 2ヶ月)					
B.5 クレジット期間 2		2010年 1月 18日 ~ 2013年 3月 31日					
B.6 想定排出削減量 3	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	0	1	19	34	61	113
B.7 モニタリング報告の頻度	年 1 回 予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに)	受給している / 申請中 / <u>検討中</u> / 受給しない					
	補助事業名称/補助元	温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業 / 環境省					
	補助金額 (申請額含む)	円					
	補助金の使途						
	補助対象年月日	年 月 日 ~ 年 月 日					
	補助金を受給していることを証明する書類	(証拠書類の名称を記入し、別紙「プロジェクト申請方法について」の添付資料一覧に補助金交付通知書等を加えた上で、証拠書類を添付する。)					
B.9 他制度への申請 4	申請の有無 (いずれかに)	有 / <u>無</u>					
	制度名 (有の場合のみ)						

備考	<p>原料の確保について 年間で製材工場より発生する端材量が、全乾重量で 900 t 以上であるのに対して、2010 年現在における年間での木質ペレットの推定生産量が 552 t であることから原料が不足する可能性は低いと言える。</p> <p>ペレットの安定供給について ペレット製造設備の故障時の対応として、破損の可能性のある部品に関しては常時完備している。また、製造機械のメーカーに 2 日以内に修理をしてもらえよう依頼している。</p> <p>ペレットストーブの使用を止めた参加者の把握について ペレットストーブの使用を中止した場合はストーブの利用者から日本の森バイオマスネットワークの事務局に連絡を入れることとする。この旨はプロジェクト参加時に行うアンケートにて各利用者に同意を得る。</p>
----	---

- 1: 2008 年 4 月 1 日以前に開始されたプロジェクトについて申請する場合には、本制度によるクレジット収益が無ければプロジェクトの継続が困難であることを、別添資料で説明すること。
- 2: クレジット期間は、2008 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日の間で設定すること。
- 3: 想定排出削減量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。
- 4: 国内クレジット制度や海外の VER 制度等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブ リストの適格性 基準との整合 性	C.1.1 ポジティブ リストの番 号	No. E. <u>003 ver. 3.0</u>
	条 件	説 明 1
	C.1.2 条件1	一般家庭・事業所で暖房に利用されていた石油ストーブやガスストーブ、または農家のビニールハウスで利用されていた石油温風器の代替としてペレットストーブを導入することで、使用される化石燃料が削減される。
	C.1.3 条件2	木質ペレット燃料の原料は全て栗駒木材株式会社にて発生する国産の製材端材を原料とする。国産材であることは伐採申請書の許可証により証明する。製材端材は廃棄に費用がかかり貯蔵能力も限られるため、焼却処分したり、やむを得ず近隣の畜産農家の敷料として非常に安価に提供していたが、敷量は他の安価なもの（樹皮等）に代替可能であり、製材端材は未利用材としての条件を満たす。
	C.1.4 条件3	プロジェクトの対象となる一般家庭・事業所や農家に対し、J-V ER 制度への参加意思の確認および代替される化石燃料の種類についてアンケートを実施する。
	C.1.5 条件4	
	C.1.6 条件5	
C.2 適用方法 論	方法論番号	JEAM <u>003 ver. 3.0</u>
	方法論名称	木質ペレットストーブの使用に関する方法論

<p>C.3 適用するガイドライン等</p>	<p>C.3.1 ガイドライン等への準拠</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1" data-bbox="576 387 1318 584"> <thead> <tr> <th data-bbox="576 387 703 432">該当する</th> <th data-bbox="703 387 922 432">準拠の説明</th> <th data-bbox="922 387 1318 432">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="576 432 703 483"><input type="checkbox"/></td> <td data-bbox="703 432 922 483">全く準拠しない</td> <td data-bbox="922 432 1318 483"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="576 483 703 535"><input type="checkbox"/></td> <td data-bbox="703 483 922 535">一部準拠しない</td> <td data-bbox="922 483 1318 535"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="576 535 703 584"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td data-bbox="703 535 922 584">全て準拠する</td> <td data-bbox="922 535 1318 584"></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	該当する	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/>	全く準拠しない		<input type="checkbox"/>	一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/>	全て準拠する	
該当する	準拠の説明	説明												
<input type="checkbox"/>	全く準拠しない													
<input type="checkbox"/>	一部準拠しない													
<input checked="" type="checkbox"/>	全て準拠する													
<p>C.4 ベースラインシナリオ(BLS)</p>	<p>C.4.1 BLSの特定</p>	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブが導入されなかった場合、各家庭・農家では取り扱いが容易な化石燃料(灯油、電気、ガス、重油)を消費する暖房機器が使用されていたことが想定される(実際の状況については資料5を参照)。 ・本プロジェクトでペレット原料として使用している製材端材は、製材製造工程において発生する端材であり、堆積の面積が限られていた。このため、焼却処分したり、やむを得ず畜産農家に対して敷料として安価に提供していた。 <p>(ベースラインシナリオを特定する際に信頼度及び入手可能性が低いデータを使用した場合、特定したベースラインシナリオが適切であることの根拠を以下に説明すること)</p> <p>特になし。</p>												
<p>C.5 排出量・吸収量の定量化</p>	<p>C.5.1 不確かなデータの使用</p>	<p>(削減量の定量化において不確かなデータを使用している場合には、削減量の過大評価がないことを以下に説明すること)</p> <p>ペレット燃料は湿度調整できる紙袋に梱包され栗駒木材株式会社内の倉庫にて保管されている。工場から各家庭・農家まで直送されるため、湿度等の影響により使用できなくなることは想定されにくい。</p>												
<p>C.6 備考</p>		<p>(プロジェクトとベースラインシナリオにおける製品又はサービス活動の種類と水準に著しい差異がある場合には以下に説明すること)</p> <p>特に無し。</p> <p>(ベースラインの設定に関連する事情の変更等により、将来、プロジェクトを中止しなければならない状況が想定される場合にはその旨以下に説明すること)</p>												

	<p>「B 備考欄」にて記述。</p> <p>(プロジェクト排出量がベースライン排出量より増加するリスクがある場合にはその旨以下に説明すること)</p> <p>特に無し。</p>
--	---

- 1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、別紙「プロジェクト申請方法について」の添付資料一覧に整理すること。また、投資回収年数等について記載しきれない場合には、別添資料で説明してもよい。

D:その他				
D.1 関連する許認可及び関連法令等	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。</p>			
			該当しない	該当する
	1	大気汚染防止法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
	2	水質汚濁防止法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
	3	騒音規制法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
	4	振動規制法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
	5	景観法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
	6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		<input checked="" type="checkbox"/> 具体的に:家庭において設置されたストーブにて発生した燃焼灰には、クロムが含まれる可能性があるため、各自治体の処理基準に従って処理していただくよう、設置者に依頼している。また、クロムの含有量については、各ストーブメーカーおよび栗駒木材に対し、調査を行っている。
	7	環境影響評価法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
	8	建築基準法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:
9	消防法	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的に:	
D.2 環境影響評価及び環境測定	<p>(法令等によって実施が求められていない場合は省略可)</p> <p>該当なし。</p>			
D.3 住民説明会の実施状況	<p>(法令等によって実施が求められていない場合は省略可)</p> <p>該当なし。</p>			